

Data+と Data+ Lite

データ管理ツール



Data⁺

© METTLER TOLEDO 2019

このマニュアルのいずれの部分も、複写や記録を含む、電子的、機械的ないかなる形または手段においても、メトラー・トレドの書面による許可を得ずして複製や送信することはできません。

米国 政府の制限付権利条項: この文書は制限付権利条項に従って提供されるものです。

Copyright 2019 METTLER TOLEDO. この文書にはメトラー・トレドの専有情報が含まれます。メトラー・トレドの書面による同意なしに、全部または一部を複製することはできません。

メトラー・トレドは、製品またはマニュアルを予告なく改善または変更を行う権利を留保します。

著作権

METTLER TOLEDO®はMettler-Toledo, LLCの登録商標です。すべてのブランドまたは製品名は、各社の商標または登録商標です。

メトラー・トレドは、予告なく改善または変更を行う権利を留保します

目次

| | | |
|----------|---|------------|
| 1 | 準備 | 1-1 |
| 1.1. | 要件の確認 | 1-1 |
| 1.2. | インストール | 1-2 |
| 2 | Data+ Lite のインストール | 2-1 |
| 2.1. | インストールプロセス | 2-1 |
| 2.2. | プログラムへのアクセス | 2-4 |
| 3 | Data+のフルインストール | 3-1 |
| 3.1. | インストールプロセス | 3-1 |
| 3.2. | プログラムへのアクセス | 3-5 |
| 4 | Data+と Data+ Lite のバージョンのアップグレード | 4-1 |
| 4.1. | 既存のバージョンのアンインストール | 4-1 |
| 4.2. | 新しいバージョンのインストール | 4-3 |
| 5 | Data+のフルライセンスアクティベーション | 5-1 |
| 5.1. | アクティベーションの要件 | 5-1 |
| 5.2. | アクティベーションの手順 | 5-1 |
| 6 | トラブルシューティング | 6-1 |

1 準備

1.1. 要件の確認

正しくインストールするためには、次の表に詳しく説明する要件をハードウェアが満たしていることを確認します。必要な.NETのバージョンとSQLサーバーがインストールされていることをインストールプログラムが確認し、欠けているあらゆるコンポーネントをインストールします。

| | Data+Lite | Data+ |
|--------------------|--|---|
| OS | Windows 7SP1、8.1、10 (Pro、Enterprise) | Windows 7SP1、8.1、10 (Pro、Enterprise) |
| RAM | 最小要件: 2GB、4GBを推奨 | 最小要件: 4 GB、8 GBを推奨 |
| CPU | 2コア | 最小要件: 2コア、4コアを推奨 |
| ハードディスク | 150MBの空き | 最小要件: 2GBの空き |
| ディスプレイ | 推奨最小要件: 1280 x 720 | 推奨最小要件: 1280 x 720 |
| SQL Express Server | 該当なし | 2014 Express、フルインストール |
| .NET | インストールパッケージに含まれる | インストールパッケージに含まれる |
| MS Excel | オプション、.csvファイルの編集用 | オプション、.csvファイルの編集用 |
| Ethernet | 推奨最小要件 — 100MB Ethernet (有線) または802.11n WiFi | |
| シリアルポート | 最大5x RS232 (ローカルPC) | |

1.2. インストール

開始するには、アカウントADMINを使用してローカルPCにログインします。[Run as Administrator (管理者として実行)]オプションを使用するだけでは不十分です。

注意

インストールプロセスとデータベースへの初めての接続は、ローカル管理者権限を使用して実行することが重要です。

1. mt.comからUSBメモリまたはローカルハードディスクディレクトリにダウンロードしたセットアップファイルを参照します。
2. **DataPlusLifeSetup.exe**を使用してLiteバージョンを新たにインストールする場合は、第2章を参照してください。
3. **DataPlusSetup.exe**を使用してフルバージョンを新たにインストールする場合は、第3章を参照してください。
4. いずれかのバージョンをアップグレードする場合は、第4章を参照してください。
5. フルバージョンのライセンスをアクティベートする場合は、第5章を参照してください。

2 Data+ Liteのインストール

注意

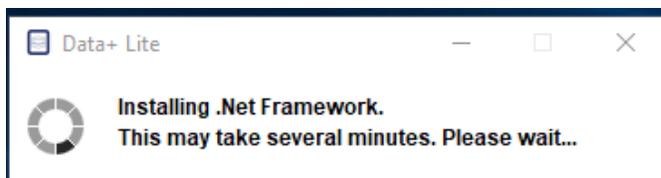
このプロセスは、必ずローカル管理者権限を持つユーザーが実行する必要があります。

2.1. インストールプロセス

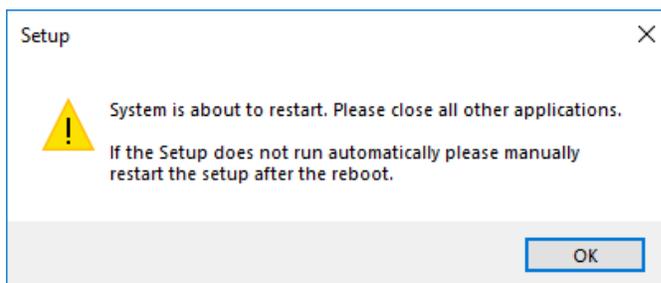
1. **DataPlusLifeSetup.exe** ファイルをダブルクリックします。セットアップファイルの解凍が開始されます。



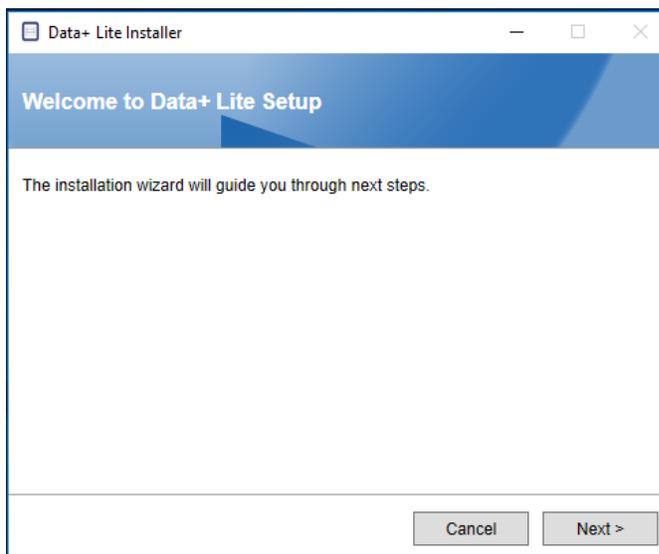
2. PCで.Net Frameworkが見つからない場合は、ここでインストールされます。



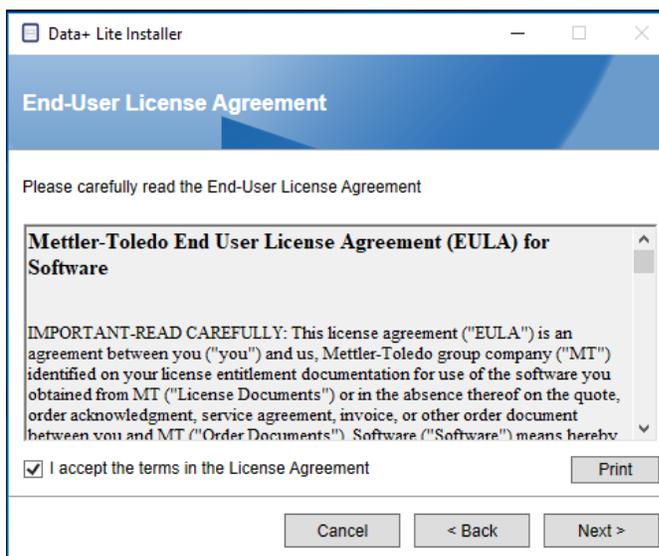
3. システムがリブートされます。



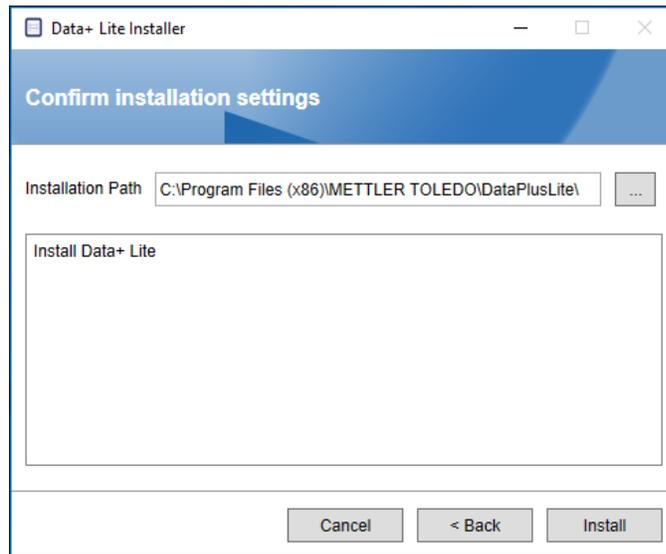
4. システムがリブートされると、インストールダイアログが表示されます。[Next> (次へ>)]をクリックして続けます。



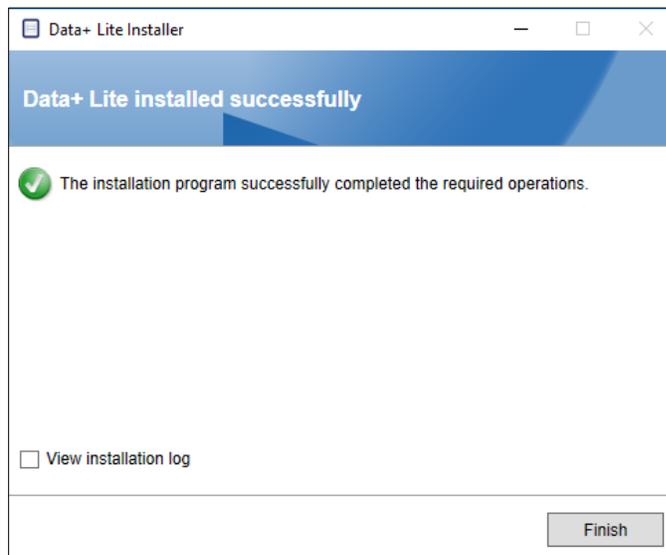
5. 使用許諾書に同意します。



6. 設定を確認し、**[Install (インストール)]**をクリックしてインストールを開始します。



7. インストールが完了したら、確認メッセージが表示されます。



8. 最後に、必要に応じて該当するボックスをオンにしてインストールログを表示し、**[Finish (完了)]**をクリックしてインストールを終了します。

2.2. プログラムへのアクセス

Data+ Liteのアイコンがデスクトップと[スタート]メニューに表示されます。



このインストールを実行するにはライセンスは必要ありません。

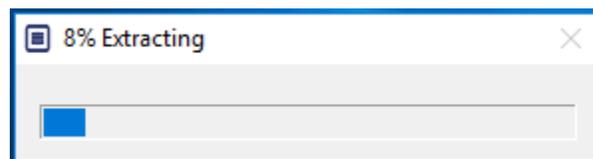
3 Data+のフルインストール

注意

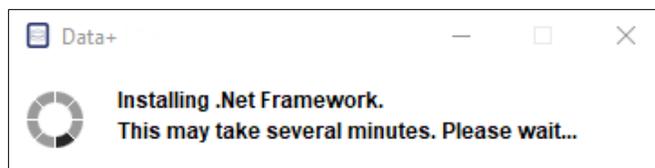
このプロセスは、必ずローカル管理者権限を持つユーザーが実行する必要があります。

3.1. インストールプロセス

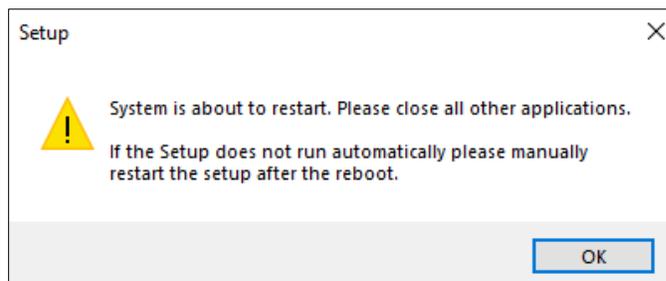
1. **DataPlusLifeSetup.exe** ファイルをダブルクリックします。セットアップファイルの解凍が開始されます。



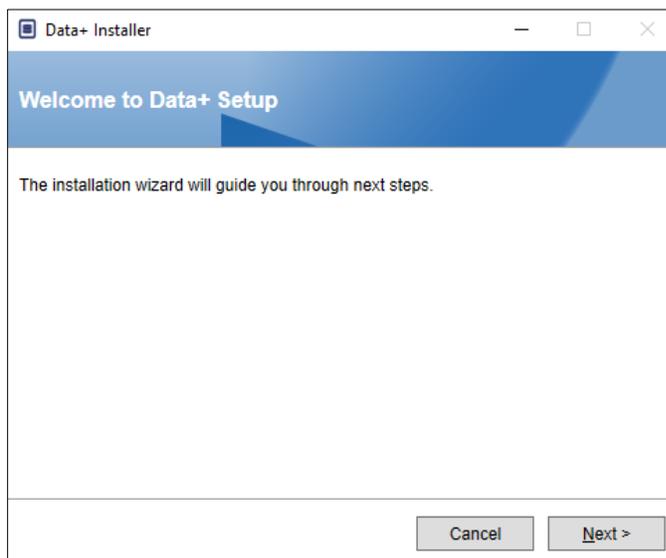
2. PCで.Net Frameworkが見つからない場合は、ここでインストールされます。



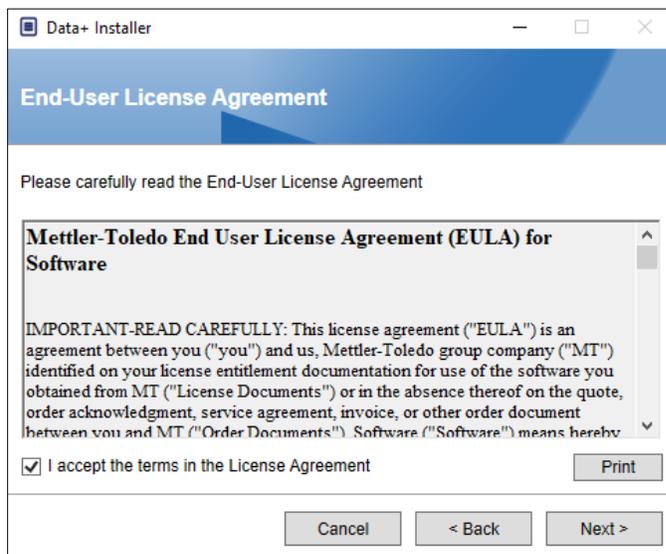
3. システムがリブートされます。



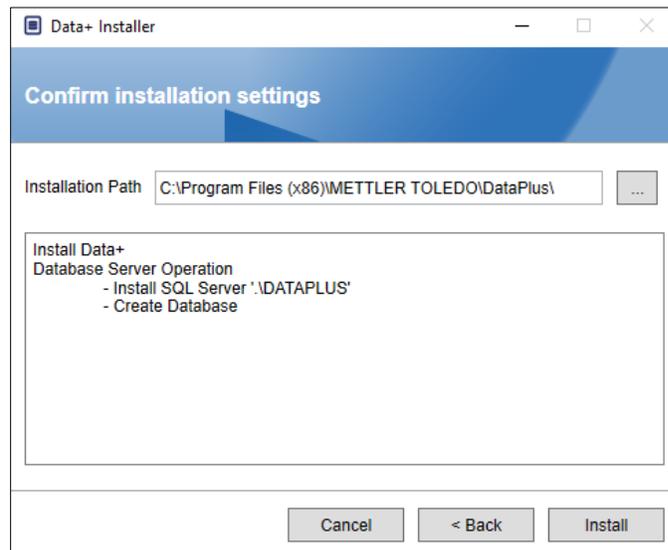
4. システムがリブートされると、インストールダイアログが表示されます。



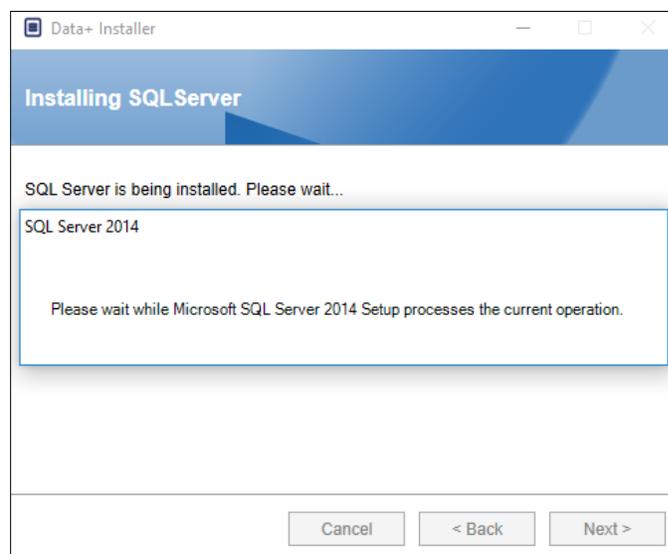
5. 使用許諾書に同意します。



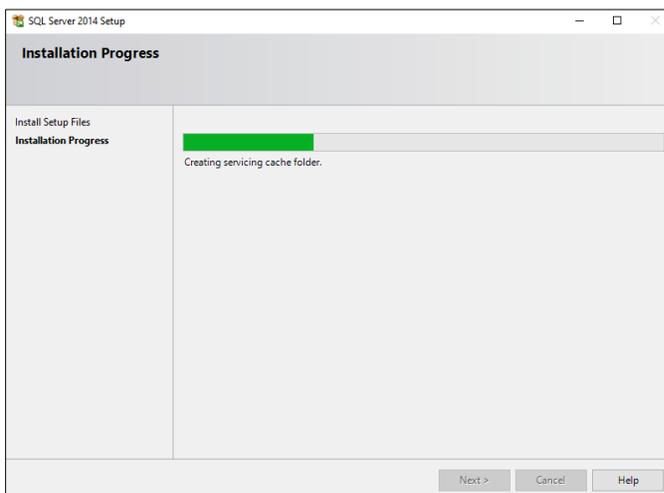
6. インストールの設定を確認し、[Install (インストール)]をクリックします。



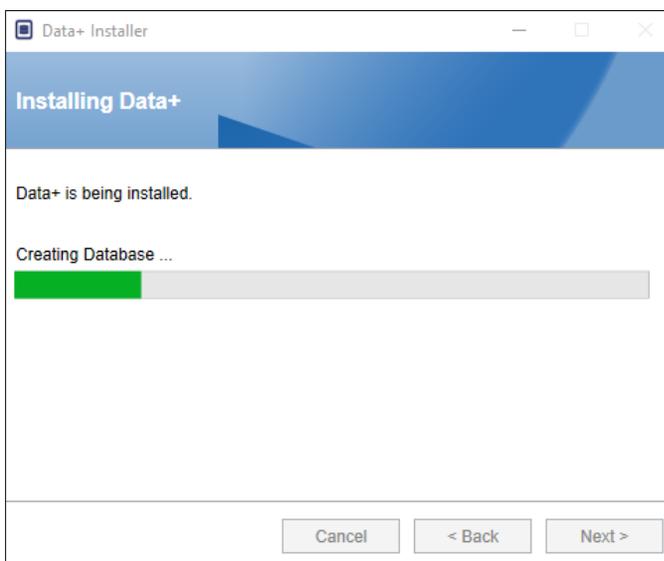
7. これでSQLがインストールされます。



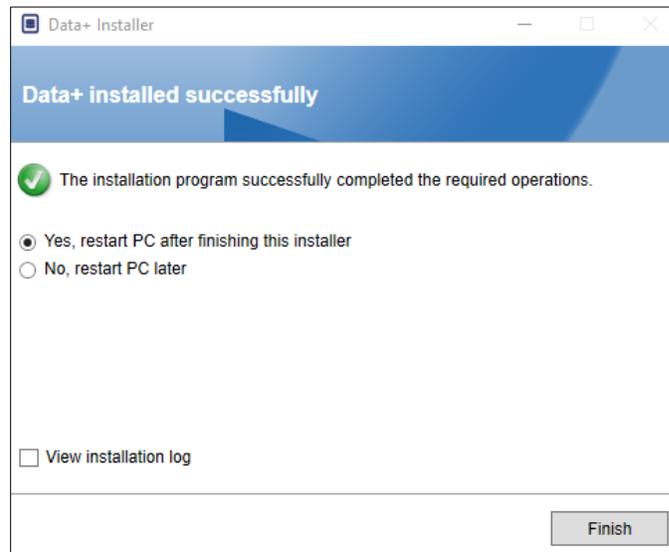
8. 進捗ディスプレイが表示されます。



9. SQLのインストールが完了すると、続けてData+がインストールされます。



10. 必要に応じて、インストールを完了するためにPCを再起動するようにセットアップアプリケーションからメッセージが表示されます。オプションで、左下のボックスをオンにしてインストールログを表示します。直ちにData+の使用を開始するには、[Yes, restart PC… (はい、PCを再起動します…)]をオンにして[Finish (完了)]をクリックします。または、[No, restart PC later (いいえ、後でPCを再起動します)]をオンにして[Finish (完了)]をクリックします。



3.2. プログラムへのアクセス

Data+のアイコンがデスクトップと[スタート]メニューに表示されます。



4 Data+ と Data+ Lite のバージョンのアップグレード

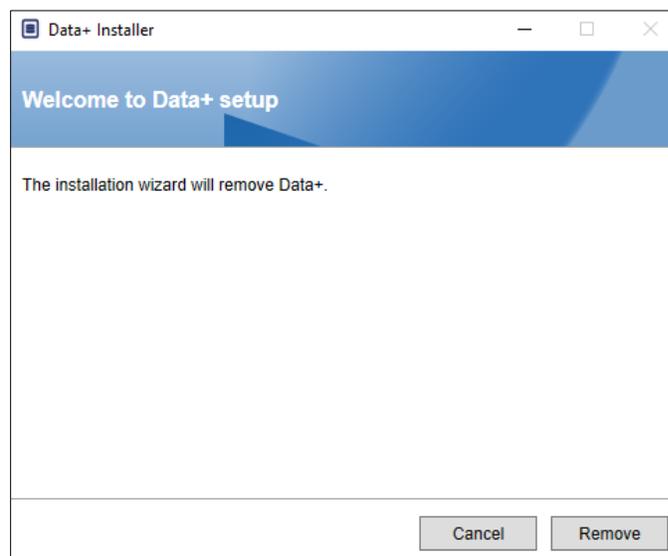
注意

このプロセスは、必ずローカル管理者権限を持つユーザーが実行する必要があります。

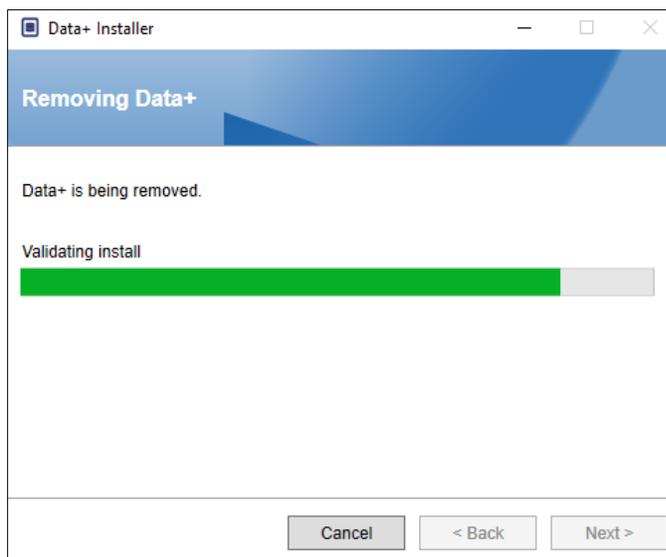
この手順は、Data+ と Data+ Lite の両方のバージョンで類似しています。 **setup.exe** ファイルを実行すると、インストーラが現在のインストール状況を検出し、適切なアップグレードをインストールします。

4.1. 既存のバージョンのアンインストール

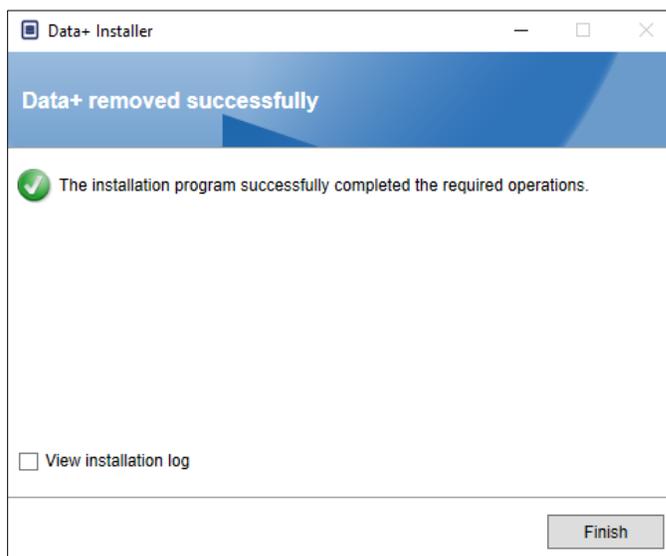
1. 古いバージョンの Data+ がアンインストールされます。



- a. Data+のフルバージョンのアップグレードでは、データベースと設定済みのすべての機器が保持され、Data+ Liteのアップグレードでは、設定済みのすべての機器が保持されます。
- b. Data+ Liteのファイルフォルダーディレクトリは削除されず、バージョンのアップグレード後に使用できます。

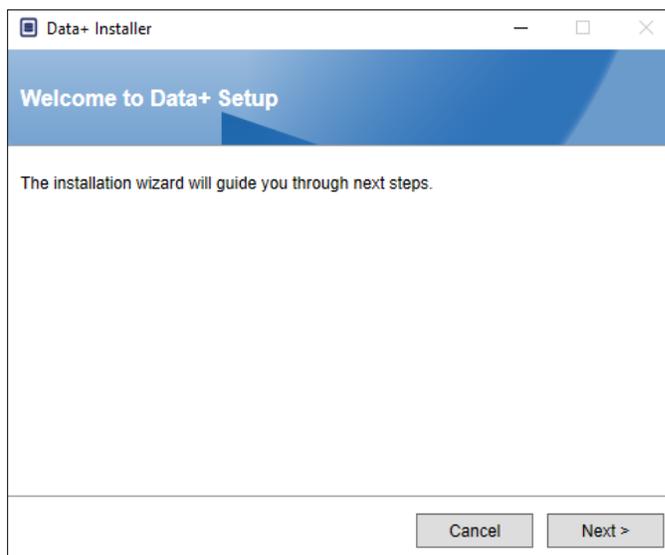


2. 確認ダイアログが、アンインストールが完了したことを示します。

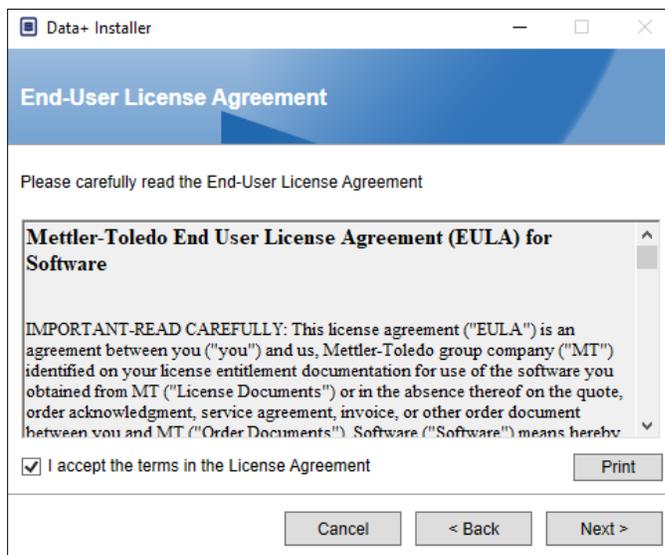


4.2. 新しいバージョンのインストール

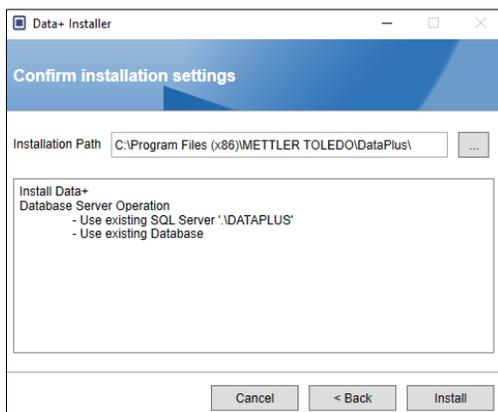
1. インストールファイルを再度実行して、Data+またはData+ Liteのアップグレードを続けます。



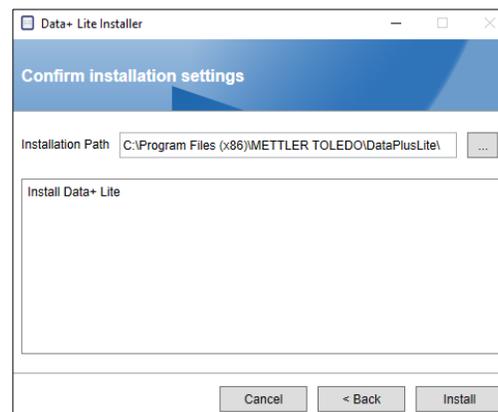
2. 使用許諾書に同意します。



3. [Next> (次へ>)]をクリックしてインストールを実行します。

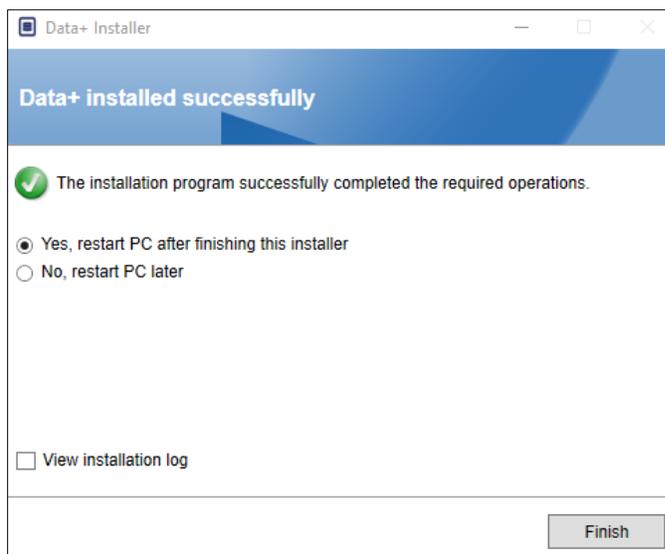


Data+



Data+ Lite

- Data+のすべてのプログラムのアップグレードをインストールする場合、既存のSQLとデータベースを使用します。
4. 必要に応じて、インストールを完了するためにPCを再起動するようにセットアップアプリケーションからメッセージが表示されます。オプションで、左下のボックスをオンにしてインストールログを表示します。直ちにData+の使用を開始するには、[Yes, restart PC… (はい、PCを再起動します…)]をオンにして[Finish (完了)]をクリックします。または、[No, restart PC later (いいえ、後でPCを再起動します)]をオンにして[Finish (完了)]をクリックします。



5 Data+のフルライセンスアクティベーション

5.1. アクティベーションの要件

Data+のフルインストールのライセンスをアクティベートするには、以下が必要です。

- ライセンスキー（購入した製品に付属）。
- ライセンス登録情報（LRI）（ソフトウェアにより表示される）。
- アクティベーションコード（キーとLRIをアクティベーションサイトに入力すると生成される）。

5.2. アクティベーションの手順

1. Data+を起動すると、45日間の無料体験版の使用期限までの日数がポップアップウィンドウに表示されます。アクティベーションされていない製品のポップアップを図5-1に示します。アクティベーション後はこのポップアップは表示されません。

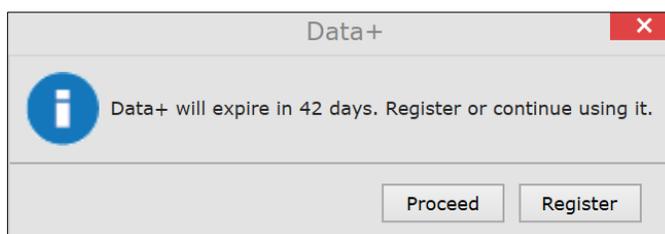


図5-1: 登録リマインダーダイアログ

2. 無料体験版の使用期間内であれば、[Proceed (続行)]をクリックしてアプリケーションを実行し、すべての機能を有効にして操作することができます。無料体験版の使用期間が終了した後は、[Register (登録)]ボタンだけを使用できます。
 - アクティベートしていないアプリケーションを使用した無料体験版の使用期間の終了後も、機器とデータベースの情報は削除されず、アクティベーションコードを適用した後に使用できるようになります。
3. [Register (登録)]ボタンを押してアプリケーションをアクティベートします。

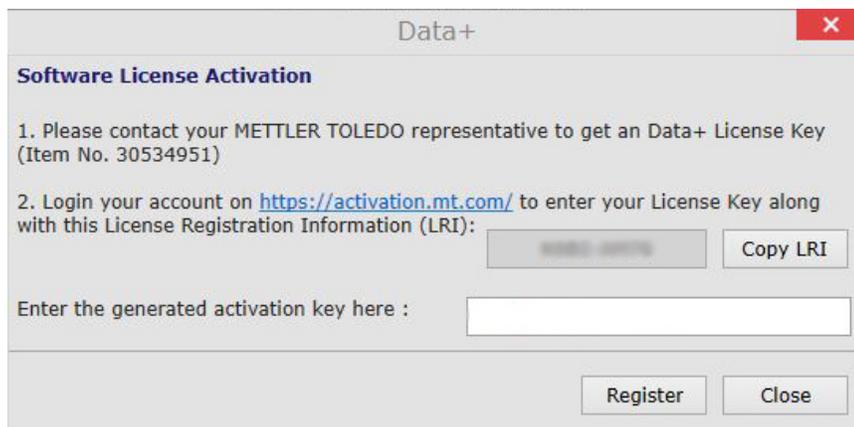


図5-2: ソフトウェアライセンスのアクティベーションポップアップ

- a. PCからインターネットにアクセスできる場合は、URLをクリックし、Webブラウザでアクティベーションポータルを開きます。
 - b. アクセスできない場合は、LRIコードとURLをコピーして、インターネットにアクセスできるPCで使用します。
 - LRIは、Data+をインストールするPCごとに異なり、購入した固有のライセンスキーが必要です。
4. URLをクリックするか、ブラウザのアドレスバーに入力して、アクティベーションポータル、<https://activation.mt.com>を開きます。
 5. このポータルの指示に従ってサインインするか、新しいアカウントを登録します。



- Data+を別のPCに移動する場合、またはCollect+などの他の製品をアクティベートする場合など、後で使用するためにログイン認証情報を保存します。必要に応じて、復元情報が登録時に使用したメールアドレスに送信されます。

6. ポータルのトップメニューにある[Activation (アクティベーション)]タブをクリックします。



7. ページを半分ほど下がった場所にある[Add license key (ライセンスキーを追加)]セクションで、はがきに記載されたライセンスコードを入力して[submit (送信)]をクリックします。

Add license key

Simple SW products with one license key only

License key:

submit

License Key

XXXX-XXXX-XXXX-XXXX-XXXX

8. メッセージが表示されたら、Data+のLRI (Error! Reference source not found.) を[Non-activated products (アクティベーションされていない製品)]タブに入力し、[Activate (アクティベート)]をクリックします。

Activated products Non-Activated products

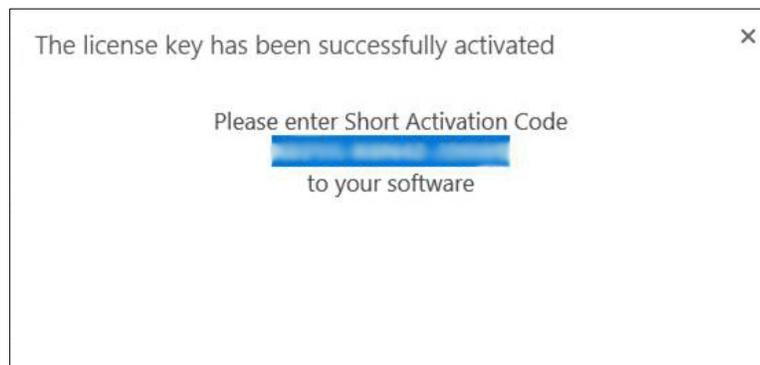
Generate LRI code in your software and enter here.

| Product subname | License Key | Uploaded | Enter your LRI | |
|-----------------|--------------------------|----------|----------------------|----------|
| DataPlus | XXXX-XXXX-XXXX-XXXX-XXXX | XXXXXXXX | <input type="text"/> | Activate |

9. ポップアップウィンドウの[System Name (システム名)]、[Server Name (サーバー名)]、[Server location (サーバーの場所)]を入力し、このライセンスを取得したData+ PCに固有のIDを入力します。[OK]をクリックします。
10. ライセンスを取得したData+ PCが[Activated products (アクティベーションされた製品)]タブのこのユーザーアカウントのリストに表示されます。

| Product Subname | System name | Server name | Server location | Hardware ID / LRI |
|-----------------|-------------|-------------|-----------------|-------------------|
| DataPlus | | | | |

11. 画面に表示されるアクティベーションキーをコピーします 図5-3。アクティベーションポータルブラウザのポップアップウィンドウにアクティベーションコードが表示されます。この番号をData+の[generated activation key (生成されたアクティベーションキー)]フィールドにコピー貼り付けし、[Register (登録)]をクリックします。



12. これでData+アプリケーションのロックが解除され、この特定のハードウェアプラットフォームで無制限に使用できるようになります。

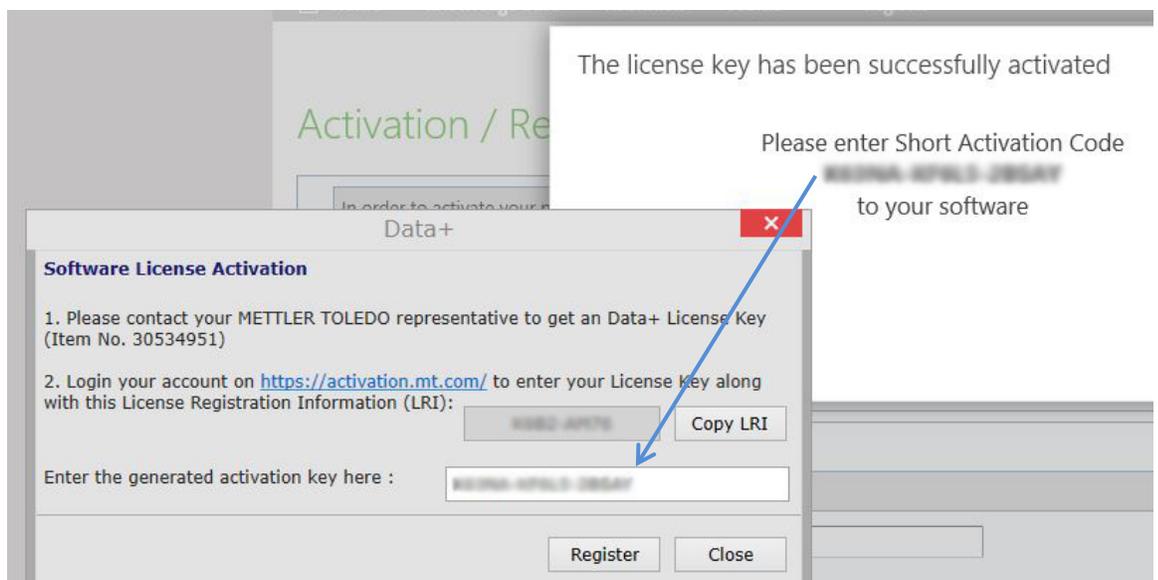


図5-3: Data+へのアクティベーションコードの貼り付け

6 トラブルシューティング

インストール時にエラーが発生した場合

詳しいエラーメッセージを確認し、
`\users\public\mettler Toledo\dataplius\logging`のインストールログ
ファイルを調べます。

セットアップでデータベースを作成できない

データベース管理システムに対する現在のログインにデータベースを作成するための適切な権限があることを確認します。

サービスが開始されない

[スタート]>[コントロールパネル]>[管理]>[サービス]
を開きます。Setup+サービスの起動のタイプが自動的に設定されていることを確認します。サービス名は次のとおりです。

Data+の場合: **Data+**

Data+ Liteの場合: **Data+Lite**

メトラー・トレドのサービス

いつまでもベストコンディション

メトラー・トレドの品質と精度をお選びいただきありがとうございます。これらの指示に従って正しく使用し、当社の訓練を受けた専門のサービス担当者による定期的な校正とメンテナンスを実施することにより、信頼性の高い動作が保証され、投資が保護されます。お客様のニーズと予算に合わせたサービス契約については、当社にご相談ください。

拡張、アップデート、また製品に関する重要な通知をお知らせできるように、

www.mt.com/productregistrationでお使いの製品をご登録ください。

www.mt.com

詳細はウェブサイトへ

Mettler-Toledo, LLC
1900 Polaris Parkway
Columbus, OH 43240

© 2019 Mettler-Toledo, LLC
30559684 Rev. 00, 08/2019



30559684